

研究支援事業では、当社の張力均衡を応用した三次元人工皮膚「Advanced Skin」は、これまでに天然皮膚に近い高感度な生理反応性を有している。安全性評価や機能性成分の探索、皮膚刺激性試験などでライセンス事業を進

当社は、次世代器官(臓器)再生医療を通じて、世界中の人々の健康と生活の質(QOL)の向上に貢献することを目指し、再生医療や医療機器、研究開発支援の分野で革新的な事業活動を展開している。事業では、全ての人々のQOLの向上とマーケット性を有する「みんなの再生医療」として歯や毛の器官再生事業に取り組みほか、研究支援事業として、動物実験代替法である三次元人工皮膚による創薬支援、ヘルスケア製品の開発支援事業に取り組んでいる。



本社R&Dセンター(東京・晴海)



研究室では高度な技術開発を推進



株式会社オーガントック

- 資本金：1億円
- 設立：2008年4月
- 従業員数：7人(2024年10月1日現在)
- 本社所在地：〒104-0053

東京都中央区晴海2-5-24  
晴海センタービル6階

- 事業内容：
  - ・再生医療向け医薬品および材料の製造、販売および輸出入
  - ・治療用細胞、組織、器官の受託製造、販売および輸出入
  - ・移植および再生医療の研究開発および技術移転
  - ・医療に関連する各種科学的検査および研究開発
- URL：<https://www.organ-tech.jp>

当社は、新たな概念に基づく独創的な「研究開発型企業」として、持続的に未病やQOL医療、いのちの再生医療などへと展開することにより、世界中の人々の健康長寿社会の実現に貢献したい。

めるほか、動物実験削減にも貢献したい。器官再生医療事業分野では、天然菌の生理機能を回復させる次世代バイオインプラントの開発を先行して進めている。今年度中にはヒトを対象とした特定臨床試験を開始する。一方、毛髪再生医療事業では、世界に先駆けて毛包のターゲットである再生毛包原基移植による第一世代毛髪再生を開発しており、さらに第二世代再生毛包原基や第三世代再生毛包などバイブラインの開発に成功した。順次、臨床開発、事業化へと進めていく。

## MESSAGE

### 再生医療の未来に向けて

会長・創業者

辻孝

つじ たかし



21世紀の高付加価値型の産業として、医療、ヘルスケア分野の研究開発は重要な役割を担うと考えられます。2008年の創業時には、世界トップの学術研究と特許戦略からQOL医療ならびに次世代器官再生医療の開発を進めてきました。事業化の第一段階として、歯や毛のQOL医療である次世代バイオインプラントと毛髪再生医療の臨床開発、医療・ヘルスケアの研究開発支援事業を軸に、世界的に卓越した「研究開発型企業」を目指しています。

経団連での活動を通して、幅広い事業分野の会員の皆さまとのコラボレーションを進め、世界初、日本発の革新的な医療技術を創出する研究開発型企業としてグローバルに展開していきたいと思っています。